

事業計画書

河内長野市長 島田智明 様

所在地 大阪府河内長野市大師町26番1号
名称 社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会
代表者 会長 吉村 禎二

1. 業務の名称 河内長野市立福祉センター管理運営業務

2. 業務の期間 2019年4月1日から2020年3月31日まで

3. 業務実施の方針

河内長野市立福祉センター「錦溪苑」(以下「センター」という。)は、市内の60歳以上の高齢者および障がい者、母子家庭の親子(以下「利用者」という。)が利用の対象となる施設であることから、利用者に対して、各種の相談に応ずるとともに健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的としている。

その目的を達成するため、地域においても誰もが地域社会の一員として尊厳をもった生活が継続できるよう、自立支援や利用者本位の福祉サービスを実現するという理念を持ち、かつ市民の平等利用を確保しながら指定管理者として管理運営を行う。

4. 業務実施予定

(1) 管理業務

- ・ 清掃業務
- ・ 警備業務
- ・ 電気設備保安業務
- ・ 消防設備点検業務
- ・ 空調設備点検業務
- ・ エレベーター保守点検業務
- ・ 自動ドア保守点検業務
- ・ ボイラ煤煙測定検査業務
- ・ ボイラ定期点検業務
- ・ 貯湯槽の清掃
- ・ 受水槽清掃業務
- ・ 水質管理分析業務(大腸菌、レジオネラ菌等の感染症対策)
- ・ 温浴設備保守点検業務

(2) 運営事業

相談事業の実施

福祉センター受付カウンターにおいて利用者からの相談に随時対応する。また、専門性や緊急性の高い相談内容については、本会のCSWや専門機関に繋ぐなど、

利用者が安心して相談できる体制を取り適切な援助、指導を行う。

健康増進事業

- ①医療健康相談の実施（「福祉なんでも相談」事業と共催）
毎月（第2水曜日）に医師による健康相談を実施し適切な援助、指導を行う。
- ②血圧測定の実施
月に2回（第2・第4金曜日）に看護師による血圧測定を実施適切な援助、指導を行う。また、自動血圧測定器を常時設置し、利用者の日々の健康管理に寄与する。
- ③機能回復・維持運動教室（健康運動教室）の実施
傷病や負傷等により心身機能が低下している人の機能回復と維持を図るため健康運動教室を実施する。
期 間：前期4月～9月・後期10月～3月（年2回募集）
- ④スカイウェル（ヘルストロン）医療機器を設置し、利用者の健康維持および現代人の多くが抱える「肩こり」「頭痛」「慢性便秘」「不眠症」の緩和に寄与する。
- ⑤マッサージ機を設置し、高齢者等がかかえる肩こりの解消を促すとともに、利用者のリラクゼーション（緊張を緩め、精神的平衡を取り戻すこと。くつろぎ、息抜きなどをいう。）に寄与する。
- ⑥その他、カケオケ機器、ビリヤード、バンパー、囲碁・将棋台を設置し声を出すことや体を動かすこと、考えることで健康の増進および介護予防に寄与する。

教養講座の実施

- ①おりがみ教室
期 間：8月（2回）
- ②フラダンス教室
期 間：10月～12月（10回）
- ③センタークラブの登録および育成、適切な援助、指導を行うとともに、新規利用者に対しクラブを紹介し加入を促し、教養の向上、生きがいづくりを図る。

老人クラブに対する援助等

- ①老人クラブ連合会の事業に対して援助を行う。
- ②単位老人クラブに対し、貸室等の利用促進を図るとともに送迎バスの運行を行い利用の利便性を図る。

センター利用者の利便性を図る措置

- ①送迎バスの定期運行
利用者の利便性を図るため、市内全域に送迎バスを定期運行する。また、今後第5週目の運行についても増便を行う。
- ②送迎バスの利活用について運営委員会で検討を行う。

アンケート調査の実施

- ①事業開催毎にアンケート調査を実施し、利用者のニーズに応じた事業を展開する。
- ②利用者に対し、年に1度、センターの管理運営を含めたアンケートを実施し、利用者のニーズに反映した管理運営が実施されているか等の検証を行うとともに、以後の管理運営の適正化およびサービスの向上を図る。

運営委員会の開催

- ①センター運営委員会を開催し、地域住民および利用者からのニーズ収集を行う

とともに、地域に開かれた施設となるべく努める。

避難訓練の実施

- ①避難訓練を年2回、河内長野市社会福祉協議会（以下「社協」という。）の自衛消防隊とセンター利用者との合同で開催し、災害等緊急時に利用者が安全に避難できるよう備えるとともに社協職員と利用者との信頼関係の構築を図る。

避難所の開設および平時の備え

- ①災害発生時や発生のおそれがある時に、行政からの要請に的確に応え、避難所を開設し避難者を受け入れ市民の安全安心に寄与する。
- ②社協の被災地支援活動の経験を活かし、避難所としての平時の備えを行う。
- ③避難所運営マニュアルを策定する。

(3) 自主事業

情報の提供

- ①より多くの市民にセンターを利用していただくために、年に6回、福祉センターからの情報などを記事にした広報誌「錦溪苑だより」を発行し、福祉センターの利用者やセンタークラブ員に配布するとともに、公民館等市内の公共施設24ヶ所に設置し情報提供を行う。
- ②センターのホームページを適宜更新し、広く市民にセンターの事業内容を掲載し広報啓発活動に努める。

福祉なんでも相談の実施

- ①寄せられる様々な相談に対応すべく、「福祉なんでも相談」を行い、CSW（社会福祉士、精神保健福祉士）やケアマネジャー、介護福祉士と連携して専門相談に応じる。

生きがいつくりおよび世代間交流の促進

- ①囲碁・将棋大会の開催（年1回）
- ②カラオケ発表会の開催（年1回）
- ③センターまつりを開催し、センタークラブの日頃の成果を発表する場として、作品の展示及び発表を行うとともに、自主クラブの活動促進を図る。また、各種団体と連携し模擬店などを行う。（年1回）
- ④ロビーコンサートの開催（年1回）

防犯教室の開催

- ①高齢者等を狙った詐欺について（河内長野警察）

講演会や講座等の開催

- ①スマートホンを使った情報収集の方法（ドコモCS関西株）
- ②特に一人暮らしの高齢者等が自宅から出ることで介護予防や居場所づくりに繋がるよう、外出のきっかけとなるような事業の開催
- ③終活セミナーの開催（㈱サービス）

5. 管理運営体制

(1) 職員配置

- ・所長（館長） 1名：管理職
- ・看護師 1名
- ・事務職員 3名

(2) 研修計画・個人情報保護

- ・大阪府社会福祉協議会主催の管理職研修を受講

- ・大阪府社会福祉協議会主催の中堅職員研修を受講
- ・人権研修会に参加
- ・感染症・食中毒予防対策研修会を受講
- ・安全運転管理者講習会を受講
- ・災害時要援護者支援研修会を受講
- ・コンプライアンス（個人情報保護を含む）の周知徹底を図る教育

(3) 緊急時対応

別添「河内長野市社会福祉協議会災害等緊急時初動マニュアル」のとおり

別添「河内長野市社会福祉協議会事務局自衛消防組織図」のとおり

6. 本業務に係る収入及び支出の予算

別添「市立福祉センター管理運営費予算書」のとおり

7. その他